

回				
覧				

No.4930(65-29)
2014.03.06 (木)

第106回臨時大会に向けて、一斉分会実施中 分会討議、代議員の選出を進めましょう。

分会長さんは、分会開催日程を決め、組合事務所にお知らせ下さい。

第106回臨時中央大会

日時：3月12日(水) 13:30~
場所：村松コミュニティーセンター

原科研入構時の通行規制

3月3日、月曜の出勤時から、原科研への入構に際して、不審者侵入対応強化のためとして、ほとんど周知期間もなく、周辺住民の生活面にも影響するような大渋滞となった通行規制が実施されました。多数の職員がこの予期せぬ大渋滞で出勤時間に間に合わず、「遅刻」を余儀なくされました。かかる事態において、原研労組は機構に対して以下の申し入れを行います。

原子力科学研究所の入構管理に関する申し入れ

① 3月3日の出勤時間帯では、入構管理方法の変更によって、大渋滞が生じ、多くの職員が早めに家を出たにもかかわらず遅刻してしまっ

この遅刻は、職員個々の責任にすべきものではない。従って、その遅刻に対して、賃金カットや、時間年休取得の強制などをすることなく、やむを得ないものと認めること。(前週末に、方法が変わるとい趣旨の構内放送はあったが具体的なものはほとんど職員に伝達されておらず、当日の事態を予想できるものではなかった)

② 核物質の防護を的確に行う事は大切である。しかし、それが不合理で職員の負担が大きく、しかも効果が乏しいものであれば無駄であり、職員の怒りの対象になる。やり方をよく検討し、実施すること。

給与の大幅削減特例措置を直ちにやめろ !!!

(人と車の流れの調査、模擬的な実験でどうすればどれだけの割合で交通を流せるかを測定するなど)

③ ②の実施において、しかるべき予算が必要であれば、必要な予算を確保し、きちんと実施すること。

(核物質防護の重要性と円滑に実施できない場合の損失の大きさを考えれば、検討に時間と労力を使い、実施にある程度大きな予算を使ってもきちんとすべきである)

④ 入構時の身分証明書のチェックにおいて、どこでどの人に身分証明書を見せるのかははっきりわかるようにすること。

「身分証明書点検位置」の表示、あるいは「身分証明書点検役」がすぐにわかる腕章、たすき等を着ける。

入構管理が円滑に行えなければ、職員の通勤時間が無駄に費やされ、ストレスがたまり、また周辺住民に迷惑をかけ、周辺の交通の大きな障害にもなる。今後、そのようなことがないようにされたい。

2014年春闘に向けた賃金・諸要求アンケート結果 その3

(何回かに分けて報告しています。)

問14. 原子力機構改革について御意見等がある方は、その内容を具体的に記入して下さい。

- (1) もんじゅがなければ機構はないみたいな考えはすてるべきである。
- (2) もんじゅに偏った機構改革を行うことで他の事業所の業務量が増えるのは止めてもらいたい。
- (3) 旧原研と動燃に戻す。
- (4) 旧原研と旧サイクルを再度分離すべき。工場と研究所が同じ思想で共存するのは難しい。
- (5) 関西研木津地区が今後、機構から切り離される場合、私の職が無くなってしまいうのでしょうか？ 先日、説明を聞いたが、全く不透明でわからない。このままではこの地区で働くみんなが不安定で、非正規雇用の者はもっと不安で、一時も精神状態が落ち着かないと思う。原研労組から訴えてください！！
- (6) もんじゅやJ-PARCのことが発端となっているにもかかわらず、他部門の研究組織の再編にまで及び「論法」が理解できない。単に研究予算規模の縮小など独法改革をするための口実に使われただけなのではないか？ 現在も不備が次々と明るみに出てくるもんじゅこそ、規制委員長が言っているように特別の組織にすべきなのでは？
- (7) 原子力研究は、基礎的なアイデアの実験や実用技術の改良、その基盤となる理論研究を小規模に継続するだけにして、核燃料サイクルとか新型軽水炉などの研究からは理論も含め、撤退すべきである。また核融合 (ITER) 研究も、将来のエネルギー源だというウソの幻想

を振りまくのをやめて、地道な研究に戻るべきである。 さらに、常温核反応（いわゆる Cold fusion）に対しても、すでに世界的に研究が進んでいることから目をそらさず、拒絶的な先入観を捨てて積極的に研究を始めるべきである。

- (8) 機構改革は核融合をは外すのではなく前に戻して旧サイクル機構を分離する方法が最適化と思います。 理由は、旧サイクルの目玉もんじゅがありますがこれが頻繁に問題を起こし、理事長まで交代に追い込まれました。また、旧原研側はJPRACの問題はありましたがもんじゅのおかげで旧原研側も一緒に世間から思われるので元に戻した方がいいと思います。
- (9) 研究機関として、プロジェクトなどのロードマップが必要であろう。 その中で、もんじゅや福島支援など、重要と考えるプロジェクトや部署があれば、重点的に待遇を良くするなどして、人材を結集すべきであろう。 一方、プロジェクトに傾き、新しい科学技術創出の芽となる基礎研究をおろそかにしないよう、注意してもらいたい。
- (10) もんじゅが中心の研究組織になるのは嫌だ。
- (11) 会議資料、議事録を公開して欲しい。 拠点で窓口交渉をしたが、機構窓口が一切の情報を知らないことや改革についての情報をyahooニュース等で初めて知る状態は組織としておかしいと考える。
- (12) 「もんじゅ」を核とする改革は反対である。
- (13) 原子力発電所をゼロ云々の前に機構“もんじゅ”をどうするかがあると思う。 発電はできない、運転もできないものに税金を投入する意味があるのかと思っている。 維持費が1日5000万円以上と聞く。 ナトリウムを温めるだけの運転？
- (14) J-PARCも反省点はあるが、もんじゅの技術的問題や今回の問題は次元が違うように思う。もんじゅは果たして大丈夫なのか、からスタートすべきでしょう。 原子力機構改革にボタンの掛け違いが生ずることを心配します。
- (15) 理事長が交代したことは当然である。しかし、新理事長になったもんじゅを中心とした改革は、いかがなものかと思う。それで、原子力研究開発の展望が開けるとは、到底思えない。
- (16) なぜか「旧動燃」の尻拭いをしなければならないのか疑問を感じる。「もんじゅ」命なのか？ 「動燃」と統合したことが根本的に掛違えであった。（一度離婚した者が再婚したこと。）
- (17) いろいろ噂はあるが、実際どうなっているのか伝わってこない。 結局どこが変わるのか見えてこない。 自己改革は無理なのではないか。
- (18) これから原子力をどうするか、どう店じまいをするかを考える事も含めて、考える組織にならんといかんと思う。 外ツラを取り繕うための改革は無意味。
- (19) 改革と言う名で組織を変更し、報告書を作成するだけであり、殆ど何も変わらないと思う。

問15. 機構の運営全般に対して御意見等がある方は、その内容を具体的に記入して下さい。

- (1) 今回の改革の案で何の説明もなく、また同じ流れを感じる。
- (2) 働く意欲がわく職場となるよう経営側も努力してもらいたい。
- (3) 職員に給料等の削減を依頼するに当たり、理事の削減率をもっと上げるべき。
- (4) 関西研木津地区で働く者への今後の配慮を考えてほしい。
- (5) 福島の山林や田畑の除染はいまだできていないという現実の状況を直視すべきである。機構が、原発の推進派と同様な立場に立ったり考え方を持つのが当然、という態度を改めるべきである。 原子力機構は原発推進のために税金を使っているのではない。

- (6) 運営の考え方がわからない。
- (7) 機構運営はこれは仕方がないことかもしれませんが、もんじゅ問題に偏り一般の業務がおろそかにされていると思います。 これでは、いつ事故が起きても分かりません。 施設の維持費は当然満額配分されるべきです。 以上の事からも旧原研（核融合は分けない）と旧サイクルは分けた方がいいと思います。
- (8) もんじゅではなく、むしろ原子力の規制と推進に関わる基礎研究基盤を深める組織を目指してほしい。（そういう意味で、やはりもんじゅは原子力機構から切り離すべき）
- (9) 小さなことをいろいろやっているのはいいが、厳しい方向にしか行ってない。 業務の効率化を図るなら、手続きを簡素にする努力も必要なのは。
- (10) 会議のための事前説明が多すぎる。とある会議用資料の作成プロセス：担当打合せ→課長説明→（以降は課長と実施）→次長説明→部長説明→（以降は部長、次長、課長が実施）→副所長説明→所長説明→拠点担当理事説明→（以降は会議取り纏め部署が実施）→副所長説明。
- (11) まず、落ち着いて研究開発できるように雇用形態を見直して、期限の定めのない雇用が中心になるようにすべき。
- (12) 統合後もやみくもに国のいいなりに原子力を推進してきた人々が機構の管理者には多い。安全を確保するために必要な研究をさせない風土を反省するとともに何が必要か具体的な方針を機構当局は明確に示すことが求められる。 無責任な安全委員会・東京電力などの尻拭いだけでは機構の存在意義が無いと考える。
- (13) 旧サイクル機構に飲み込まれている地区では、相変わらず南地区、北地区の見えない壁は高い。 ISOを取り入れたのが早いはずの旧サイクル機構の不祥事の数々、本当に役立つのであろうかISO？
- (14) 「安全文化の醸成」と唱えているが、具体策が不明である。 結局「動燃」がマイブランチ意識をもっていないことに起因する。
- (15) 常勤、非常勤の評価をしっかりとしてほしい。 ただ、いるだけの人や文句ばかり言って仕事していない人は大勢いるはず。
- (16) 自立・自律しては？ 理事ら上の人間の仕事は、監督官庁からくる要求を飲むか飲まないか考えるだけ？ 福島第一原発事故関連で頑張っている職員のために、給料引き上げで監督官庁と喧嘩するぐらい出来ないのか？
- (17) 自己改革してガバナンスを強めるというのであれば、特例措置による給与削減を早急に止めるぐらいの自主性を示してほしい。
- (18) 私が所属している部署では、一部のグループへ研究テーマ、予算、外来研究員、技術職員を集めており、研究職として必須の論文や学会発表を独占している。 私のグループは被害を受けており、研究職として成果を残すことが困難である。 昇進試験などで同じような論文数や研究成果を求められることは非常に不公平であり、直ちに止めてもらいたい。
- (19) 減らした給料を早く元に戻して欲しい。

以下は次号以降で報告します。